

武庫川女子大学甲子園会館「楠松祭」と「旧甲子園ホテル写真展－米軍将校宿舎時代－」について（報告）

1. 楠松祭（なんしょうさい）

楠松祭は、武庫川学院がライト式の歴史的建築物である甲子園会館（旧甲子園ホテル）を保存しつつ教育施設として活用していることを広報するため、平成 15 年（2003 年）甲子園会館と武庫川女子大学オープンカレッジ（生涯学習機関）が合同で開催したものです。翌、平成 16 年（2004 年）からは、武庫川女子大学生活美学研究所が参加し、3 者合同で開催してきました。第 15 回目となる平成 29 年度は、初めて西宮市及び西宮市教育委員会の後援を得て、平成 29 年 11 月 11 日（土）～18 日（土）、甲子園会館と生活美学研究所の合同で実施しました。

「楠松祭」の名称は、甲子園会館ゆかりの楠と松に由来するものです。

甲子園会館がある武庫川女子大学上甲子園キャンパスには、楠の大木が多く、そのうち 3 本は西宮市保護樹木に指定（昭和 48 年）されています。また、甲子園ホテルは、昭和 5 年に松林の中に建設されたものであり、今でも南庭園にはホテル当時の自然の松の高木が並んでいます。

2. 旧甲子園ホテル写真展－米軍将校宿舎時代－

第 15 回楠松祭の一環として、楠松祭の期間中（平成 29 年 11 月 11 日（土）～18 日（土））、甲子園会館 1 階ラウンジにおいて「旧甲子園ホテル写真展－米軍将校宿舎時代－」を開催しました（11 日（土）は 10:30～17:50、12 日（日）～18 日（土）は 10:00～16:00）。

甲子園ホテルは、昭和 5 年（1930 年）4 月 15 日に開業しましたが、太平洋戦争により昭和 19 年（1944 年）に海軍病院として収用され（国有）、ホテルとして利用されたのはわずか 15 年間でした。終戦後の昭和 20 年（1945 年）10 月にはアメリカ進駐軍に接收され、将校宿舎とクラブとして使用されました。昭和 32 年（1957 年）に米軍が引き揚げた後は、国有財産として大蔵省の管轄になっていました。昭和 40 年（1965 年）に武庫川学院が譲り受け、数次にわたって内外装の全面修復・改修や耐震補強を実施しました。外観はホテル時代の忠実な姿を保ちながら、内部の各室は教育施設の機能を十分に発揮できる建物へと整備し、武庫川女子大学甲子園会館として今日に至っています。

昭和 40 年（1965 年）に武庫川学院が国から譲り受けたのは建物と土地であり、ホテル時代の歴史的資料は含まれていませんでした。その後、寄贈等により、甲子園ホテルゆかりの食器などの什器、絵はがき、パンフレットなどの資料を収集・保管・展示しています。また、ホテル内やホテルを背景に写した写真をお借りし、スキャンして研究用に保存しています。収集した写真の中から、昨年の楠松祭では、「甲子園ホテルと共に一人生の華と歓び」と題して、甲子園ホテル時代にここで挙げられた結婚式の写真を展示しました。

しかし、アメリカ進駐軍時代の甲子園ホテルの写真や資料はほとんど所有していませんでした。平成 29 年 4 月に、西宮市情報公開課（歴史資料チーム）より、昭和 31 年（1956 年）に撮影した甲子園ホテル大宴会場（現在の武庫川女子大学甲子園会館西ホール）でのクリスマスパーティーの写真 32 枚のデータ提供を受けました。当時の西宮市広報担当職員・内田和正氏が撮影したものです。このクリスマスパーティーの写真から 13 点を選び、武庫川学院が所有している進駐軍時代の写真 7 点とあわせ合計 20 点の写真を 17 のイーゼルに並べ写真展を開催したものです。

本学院所有映像のうち、本写真展で発表したのは、アメリカ国立公文書館より取得した同館所蔵の写真 2 点、梶間栄一氏より提供いただいた 1 点、松下政夫氏より提供いただいた 4 点です。

梶間氏は、戦後、甲子園会館の近くに子どもの頃から住まれており、アメリカ進駐軍将校宿舎・クラブ時代の甲子園ホテルの外観写真（撮影者不明）を提供いただきました。梶間氏は、ご家族と一緒に写真展にお越しになられました。

松下氏は、昭和 29 年～32 年の青春時代、ホテル東側敷地内の宿舎に住み込み、調理人として地下厨房で牛肉料理に従事されていました。松下氏からは、調理人時代の多くの映像とともに、貴重な体験談をお聞かせいただいています。本写真展ではいただいた映像の中から 4 点を厳選して発表しました。松下氏もご家族と一緒に写真展にお越しになられました。

甲子園会館では、引き続き、甲子園ホテル内やホテルを背景に写した写真データの収集を行っています。写真をお貸しいただける方は、甲子園会館庶務課（☎0798-67-0079）へ是非ともご連絡ください。



松下政夫氏

甲子園会館 東地階入口の東にて

上：昭和 29 年～32 年のある日

松下氏の右後ろの半円形部分は石炭置場。厨房での調理には石炭が使用されていた

下：平成 29 年 11 月 12 日（日）

旧甲子園ホテル写真展
—米軍将校宿舎時代—



サンタクロースの登場です。

なんとサンタはヘリコプターに乗ってやってきました。

着陸したところは、甲子園ホテルの北西広場。

子どもが出迎えています。アメリカの豊かさを象徴する演出となっています。

ヘリコプターはアメリカ陸軍の H-13 スー (Sioux) - 民間ではベル 47- と思われます。



サンタクロースが南庭園から大宴会場（バンケットホール、現在の西ホール）に入ろうとしています。

待ち焦がれた子どもたちがついて行きます。

庭にはバーベキューの窯が設置されています。野外パーティーの際に使用されていたものです。

写真提供：西宮市情報公開課



泉水側の入口から大宴会場（バンケットホール、現在の西ホール）を覗いた光景です。
装飾タイルにはベルが飾られています。

写真提供：西宮市情報公開課



サンタクロースが子どもたちにクリスマスプレゼントを渡しています。

大宴会場（バンケットホール、現在の西ホール）の南入口に壁を立て、窓・暖炉を設けています。

アメリカの住宅のような雰囲気を醸し出しているのでしょう。

装飾柱の水受けには臨時的にろうそく型の照明を置き、高天井をライトアップしているようです。

写真提供：西宮市情報公開課



クリスマスプレゼントをもらって喜んでいる女の子。

後ろには大きなツリーが華やかに飾られ、クリスマスのムードを盛り上げています。

装飾柱の水受けには臨時的にろうそく型の照明が立てられているようです。



装飾柱にご注目ください。

タイル目地の色が現在と比べ著しく明るいことに気が付かれたでしょうか。

進駐軍の手によりペンキが塗られていたのでしょう。

写真提供：西宮市情報公開課



クリスマスパーティーの様子。

余興でしょうか、前（大宴会場（バンケットホール、現在の西ホール）の南）でおたふく？の面をつけた着物姿の人物が踊っているようです。

その後ろには暖炉が設えられ、クリスマスプレゼントが山積みされています。暖炉は、パーティーのために設えられたのでしょうか？
テーブル上には大丸百貨店のマークが入った風船が置かれています。

写真提供：西宮市情報公開課



大宴会場（バンケットホール、現在の西ホール）西端の中央付近から東方向を望んだ光景。
左上には市松格子光天井が広がっているはずですが、ネットが張られ星空を演出しています。
日本的な意匠を隠し、アメリカの住宅のような雰囲気を出している意図だったのかも。
装飾柱にはベルが飾られています。

写真提供：西宮市情報公開課



大宴会場（バンケットホール、現在の西ホール）の南部分の光景。

南入口に壁を立て、窓・暖炉を設けています。アメリカの住宅のような雰囲気を醸し出しているのでしょう。暖炉からサンタクロースが現れるという演出がされたかも。

男の子が構えているおもちゃの鉄砲はプレゼントにもらったのでしょうか。

写真提供：西宮市情報公開課



クリスマスツリーの下で、子どもたちがプレゼントを広げようとしているのでしょうか。

大丸百貨店のマークが入った風船が見えます。

木製床が相当に傷んでいるのが明瞭に見て取れます。

写真提供：西宮市情報公開課



大宴会場（バンケットホール、現在の西ホール）の南部分の光景。

南入口に壁を立て、窓を設けています。アメリカの住宅のような雰囲気を醸し出しているのでしょう。

女の子がクリスマスプレゼントをもらって喜んでいます。包装紙をよく見ると、微かに大丸百貨店のマークと思われるような意匠が窺えます。大丸神戸店は戦災を受けておらず、進駐軍に8年間接収されていたといわれていることから、プレゼントの商品は大丸百貨店で調達したのではないかと。それゆえ、大丸百貨店のマークが入った風船が、複数の写真に写っているのではないかと。無理な問いかけだと承知の上で、大丸神戸店にその旨照会させていただきました。同店の広報担当者が、骨を折っていろいろと調査してくださいました。その結果、風船は大丸百貨店のものに間違いはない。包装紙も大丸百貨店がクリスマス用に使用していた特別包装紙である、という回答をいただきました。しかし、販売は神戸店が行ったのか、心齋橋店だったのかは不明ということでした。それだけでも分れば十分ではないでしょうか。無理な調査を快く引き受けてくださった大丸百貨店神戸店に深く感謝します。

木製床が相当傷んでいるのが分ります。当時、床材は東西方向に貼られていましたが、現在は南北方向に貼られています。



大宴会場（バンケットホール、現在の西ホール）東南部から北東方向を望んだ光景。

お母さんらしき女性が大丸百貨店のマークが入った風船を持っています。男の子が構えているおもちゃの鉄砲はプレゼントにもらったものでしょうか。

木製床が相当傷んでいるのが分ります。当時、床材は東西方向に貼られていましたが、現在は南北方向に貼られています。



SC 466525
 3-1-1/FEC-53-53984 5 JANUARY 1953

(L TO R) BUNZO AKAMA, GOVERNOR OF OSAKA; BRIG GEN CARTER W CLARKE, CG, SOUTHWESTERN COMMAND; REIKO AKAMA, DAUGHTER OF GOVERNOR AKAMA; MRS CLARKE; COL CHARLES F HUDSON, CO, CAMP KOBE, AND SUTEICHI SAKATA, ASST C CHIEF OF THE PUBLIC INFORMATION OFFICE, AT NEW YEAR'S DAY RECEPTION HELD AT KOSHIE HOTEL, KOSHIE, JAPAN. RECORD MF

PLEASE CREDIT
 U S ARMY PHOTO BY SGT JOSEPH H DEFOR (YA)
 CAMP OTSU PHOTO LAB
 NOT FOR PUBLICATION UNLESS APPROVED BY
 UNITED STATES ARMY PUBLIC INFORMATION OFFICE

25 MAY 1954
 Office of the
 Chief Signal Officer

Japan Koshien Japan Koshien
 Pers: Clarke Carter W

SC 466525 KOSHIE, JAPAN
 (L to R) Bunzo Akama, Governor of Osaka;
 Brig Gen Carter W. Clarke, CG, South-
 western Comd, Reiko Akama, daughter of
 Governor Akama; Mrs. Clarke; Col Charles
 F. Hudson, CO, Camp Kobe, and Suteichi
 Sakata, Assistant Chief of the Public
 Information Office, at New Year's Day
 reception held at Koshie Hotel.
 5 January 1953

3-1-1/FEC-53-53984 (Sgt Defor)
 UNCLASSIFIED by OCSigO, 25 May 1954
 1g

昭和 28 年（1953 年）1 月 5 日、甲子園ホテルで催された新年祝賀会での記念撮影です。

場所は、1 階ラウンジの東端。庭園側を背にしています。画面の左（東）を見ると、折戸が開け放たれているのが分ります。天井の電球は、この形のは現在はラウンジでは使われていません。後ろに掲揚されている旗は、左は星条旗ですが、右は准将旗でしょうか。

記念撮影に納まっている人は、左から赤間文三大阪府知事、南西地域司令官カーター W.クラーク准将（Brigadier General : Carter W. Clarke）、赤間文三の長女・礼子さん、クラーク准将夫人、キャンプ神戸司令官チャールズ F.ハドソン、広報室アシスタントチーフ・さかたすていち、です。赤間文三は、大阪府知事の後、参議院議員に当選し、1967 年には法務大臣として入閣しています。



昭和 21 年（1946 年）11 月 20 日、甲子園ホテル 1 階ラウンジの中央部分での撮影です。

アイゼンハワー将軍（Dwight David Eisenhower、後のアメリカ合衆国第 34 代大統領）の副参謀長ハンディー陸軍大将（General : Thomas Troy Handy）が、日本に駐留しているアメリカ軍を視察旅行中、随行メンバーと甲子園ホテルを訪れ、お茶を楽しんでいるところです。

写真に写っている人物は、左から、スウィング少将（Major General : Joseph May Swing）、ハンディー大将（General : Thomas Troy Handy）、クリックロー准将（Brigadier General : R.W.Crichlow）、アイケルバーガー中将（Lieutenant General : Robert Lawrence Eichelberger）です。



米進駐軍将校宿舎・クラブ時代の甲子園ホテル北東部から見た外観です。

手前のクスは、今ではさらに成長し、西宮市の保護樹木に指定されています。

写真では右側の西側塔屋上にスピーカーらしきものが見えます。米軍が設置したのでしょうか、それ以前からあったのでしょうか。

玄関の上に、米軍が設置したと思われる看板らしきものが見えます。何が書かれていたか何も書かれていなかったかは不明です。

屋上バルコニーに、米軍が設置したと思われる旗竿らしきものが見えます。周囲には、米軍が設置したと思われる照明器具のようなものが見えます。

写真では左側の東塔（ライトタワー）の上の鉄骨部分に、横向きに支柱が設置されているのが見えるのでしょうか。これは旗竿で、ホテル竣工当時は西塔にも付けられていました。

この写真から、戦後の米進駐軍将校宿舎・クラブ時代には西塔の旗竿は失われているのが分ります。東塔の旗竿も昭和40年以降に撤去され、現在は存在していません。

北側広場には、アメリカ製高級自動車が並んでいます。

写真提供者の梶間さんによれば、当時、浜甲子園のベースキャンプと甲子園ホテルの移動に専用バスが運行されていて、バスには白人の子どもたちがたくさん乗っていた。また、当時西宮市塩瀬町名塩にあったウエルキンソン・タンサン鉱泉(株)の車が入り出ており、バヤリースでも運んでいたのだらうということでした。

写真提供：梶間栄一



米進駐軍将校宿舎・クラブ時代の地下厨房です。

進駐軍の厨房係と日本人調理人が記念写真に納まっています。

棚には、上の写真ではロブスター、下の写真では七面鳥が載っています。下の写真はクリスマスの頃の撮影でしょうか。後ろには大きなフード。

ホテル時代に厨房だった場所は、現在、建築学科1年生が木工、陶芸や瓦の制作といった空間表現演習を行うアトリエとなっています。

床のタイルも今では上に木が張られ、直接見ることはできません。

松下政夫氏は、上の写真では右から5人目の方です。下の写真では、後列真ん中に厨房係のホークス軍曹、その右が松下氏です。

当時、調理人だった写真提供者の松下氏によれば、厨房等は次のような状態だったそうです。

- ・調理人は、敷地内の宿舎（ホテルの北東部にあった）に住み込んで勤務していた。
- ・従業員入口には憲兵が常駐し、出入りをチェックしていた。
- ・地下厨房より、ホテル上階への出入りは禁じられていた。
- ・現在の食堂部分は、ホテル事務室として日本人が勤務していた。



米進駐軍将校宿舍・クラブ時代の南庭園で寛ぐ調理員

左の写真は、大宴会場（現在の西ホール）の前（南）で写した写真提供者松下政夫さんです。マツの新芽の伸び具合から見て5月頃の撮影でしょうか。

後方に聳えているのは東塔。上の鉄骨部分に横向きに設置されている支柱は旗竿です。

東塔の旗竿も昭和40年以降に撤去され、現在は存在していません。

右の写真は、南庭園での調理員の記念撮影です。

ホテル当時、庭園の南にあった大湯池を鳴尾村から借地し、舟を浮かべて景色を愛でていました。その大湯池に架かっていた橋での記念撮影です。

後ろには、大宴会場（現在の西ホール）や西塔が写っています。

西側塔屋上にスピーカーらしきものが見えます。米軍が設置したのでしょうか、それ以前からあったのでしょうか。

写真提供者の松下政夫氏は、最後列の左から3人目の方です。

写真提供：松下政夫